

事業所における自己評価結果（公表）

事業所名: ステラプレナ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・机を増やして対応している。 ・適切な空間を作っている。 ・長期休暇で児童発達とデイサービスが重なる日は限界を感じる時があった。 ・コロナ禍のため、より一層ソーシャルディスタンスに気を利かせる必要がある。
	②	職員の配置数は適切である	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇で職員が送迎に出ているときに、足りないと感じた。 ・男性職員がもう1人いると利用者把握も徹底できると考える。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構成化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせて配置を動かしている。 ・トイレ内が狭いため汚れた衣服の洗い場に困る ・階段 ・トイレやエレベーターが狭く、車いすの方の受け入れは難しい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ワックス掛けを定期的に行うとよいと感じる
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行っている。 ・朝の打ち合わせの時間を長くしたい。 ・行っているが、広く職員が参加しているかとなると課題が残る。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聞いてどのように活動を行っていくか進めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の内容の確認し、改善の方法を公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	6	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたい研修が受講できるようにしている。 ・研修の情報を伝えている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を話し合いその後支援に繋げている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化アセスメントツールは使用していない。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人及び家族の支援を行うために必要な支援を具体的に記載している。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その子にあった支援を行っている。 ・職員全員が目を通すべき資料である。 ・1人1人にあった支援ができていない。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・月案を作成する。 ・活動のプログラムを話あっている。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないようにミーティング等で話し合える場が作られている。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別と集団活動の時間を使い分けている。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	5	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時期のミーティングで話し合いを作っている。 ・もっとあってもよい。 ・長期休暇などできない日がある。 ・毎回ではない。 	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の振り返りや反省会を行い次の日に生かしている。 ・もっとあっても良い。 ・支援終了後よりも次の日のミーティングで行う事が多い。 	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取り支援を振り返ることができ、改善に繋がっている。 ・記録は取っているが改善進展には繋がっていない。 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを職員全員で行いたい。 ・定期的に（時期がずれる）こともある 	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、児童発達管理責任者、指導員が参加している。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている子もいる。
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児がいない。
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児がいない。
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合は行っている。
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員ではないが、相談支援専門員と児童発達管理責任者は行っている。
		㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問は行っているが交流はない。
		㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	6	
		㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・気になったことを伝えて他の職員とも連携を取っている。
		㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナもありセミナーとしてはまだ行っていないが、面談や個別には行っている。
	保護	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	

	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	・要望書を月に1回作成している。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	1	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	・相談があった場合はすぐに職員と連携し対応を取っている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	1	・インスタで発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	3	・現在見直し作成中。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	1	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	0	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	・アレルギー対応はしているが医師の指示書はない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	・毎月挙げている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	・カメラの導入を考えている。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	1	・現在利用している児童にはあてはまる子はいない。